

おくび



2008

11

NO.649

● 広報



シリーズ⑦



～ 飯豊連峰紅葉ジョギング大会 ～

10月26日、第27回飯豊連峰紅葉ジョギング大会が、旧小玉川小中学校で開催されました。町内の小中学生や、新潟県などから参加した250人は、それぞれ4つのコースに分かれて、赤や黄色に染まった山々をバックに、額に汗を流しながら思い通りのペースで走っていました。

歴史を展示 街かどミニ鉄道展

町商工会が主催する「街かどミニ鉄道展」が、10月18～19日、アスモで開催され、米坂線の歴史を中心に、さまざまな鉄道資料や線路管理用の道具が展示されていました。

また会場では、改札鋏^{かいざつきょう}（切符を切る道具）など、実際に道具類に触れるコーナーも設けられ、訪れた親子連れなどに大人気となっていました。このほか、蒸気機関車や廃駅などの写真の前には、目を細めて見入る年配のかたがたも多く見られました。



地元の旬を味わって 秋の収穫祭

10/11～13

十月十一日～十三日まで、道の駅「白い森おぐに」で、秋の収穫祭が行われました。三連休に合わせて開催された今回は、観光面での広域的な交流と連携を図るため、新潟県下越地方の特産品も多数出店され、町内外から多くのかたがたが会場を訪れていました。

また期間中は、日替わりイベントとして、来場者に新米や海産物などがプレゼントされたほか、地元産にこだわった旬のきのこやあけび、芋煮など秋の味覚が揃えられ、たくさんの人だかりができていました。

白い森発



10/26

紅葉の黒沢峠を満喫 第23回黒沢峠まつり

十月二十六日、黒沢峠敷石道保存会が主催する黒沢峠まつりが開催されました。

今回は、敷石が整備される前の旧道から山頂、そして現在の敷石道へ周回するコースが設定され、百人を超える参加者が紅葉を眺めながら黒沢峠を散策。その後、祭り広場では、丸太切り大会などのアトラクションに大きな歓声があがっていました。



ーこの人に聞くー



白い森杯柔道大会
実行委員長
多勢 信人さん

柔道を通した青少年の健全育成や、広域交流を目指す「白い森杯柔道大会」は、今年で6回目を数えます。

中学生対象のこの大会は、年々出場希望者が増え、現在は約400人の選手が参加し、県内でも最大規模の柔道大会となりました。準備にあたる父兄やOBなどの地域のみならず、協賛してくださる企業や団体、選手団を引き受けてくださる宿泊施設など、多くのかたの協力に支えられ、ここまで大きな舞台を作りあげることができました。

この大会では、より多くの選手に試合をしていただくため、レギュラー選手だけではなく、準レギュラー選手を対象とした試合なども行うほか、翌日には合同練習会も企画しています。

会場は、選手や応援団の活気に満ちあふれています。みなさんにも、ぜひ1度大会の雰囲気を感じていただければと思います。

10/18~19

鉄道資料や米坂線の



9/27

縄文のクリ・小国のクリ 新潟県立歴史博物館講演会

九月二十七日、総合センターで、新潟県立歴史博物館が主催する「縄文のクリ・小国のクリ講演会」が開催されました。これは同博物館が、縄文時代のクリと人々の生活の関わりについて、約二年間、町内で実施してきた調査の成果を発表したものです。

講演会には、町民約三十人のほか、県外から、考古学や植物学などの専門家や学生らも参加。縄文時代における里山の管理状況や、生活の変化などが報告された後、調査地となった栗林の見学会も行われていました。



小国高校が六十周年

～一貫教育の中核として～



戦後の昭和二十三年二月、わが国の新制高等学校がスタートしました。同年、本町に県立小国高等学校が創立され、今年で六十周年を迎えました。

今月は、小国高校の歩みを振り返りながら、魅力ある学校づくりの取り組みをご紹介します。

新しい上級学校が本町に

昭和二十二年、国は教育基本法と学校基本法を公布し、現在の学校制度の骨格となる六・三・三・四制が定められました。翌二十三年、戦後の新しい教育として、新制高等学校の実施が決定しました。

これにより、同年、県立小国高校が創立され、小国小学校内に仮校舎を設置。それまで町には、旧制中学校（新制高等学校）がなかったため、上級学校に進学するためには、長井市や米沢市に行かなければならませんでした。

開校式は、五月二十二日。教育機会が十分ではなかった当時の環境のなか、新制高等学校の生徒二百人あまりは、大半が社会人。当初は、日中の勤務を終えてからの定時制としてスタートしました。

小国高校の沿革史

昭和二十三年度

四月 県立小国高校設置認可。定時制高校として発足。

五月 小国小学校内仮校舎で開校式及び入学式。

六月 授業開始（普通科、農業科、家庭科）。

昭和二十四年度

六月 旧中学校跡地に移転。

昭和二十七年

これまでの歩みと 小中高一貫教育

小国高校は県立高校として設置されたものでしたが、昭和四十年に全面県移管となるまでは、施設の大部分が町の所有となっていました。そのため町や住民が一丸となって協力し合い、高校の運営を支えてきました。町民の熱意によって守り育まれてきた「地域の高校」は、現在、小中高一貫教育の実践で中核的な役割を果たしています。



画面に向かい文字を入力する小国高校生

六年間にわたる文部科学省の「研究開発校」としての指定は、平成十八年度で終了しています。しかし町では、六年間の成果を基礎として、平成十九年度から引き続き、「豊かな心と創造力を持ち、社会変化に柔軟に対応できる人材の育成」を目標に、独自の「一貫教育を進めています」。

特色の一つであった特設科目の「国際・情報」については、単独教科として認められなくなったため、現在は、総合的な学習の時間などを利用して、これまでと同様の学習が確保されています。この町独自の取り組みによって、早い段階からパソコンや英語に触れることができ、その成果が、高校における英検やワープロ検定などの資格取得につながっています。

また、地域の伝統や文化を学ぶ小・中学校での「白い森学習」は、小国高校で



高校体験入学で、熱心にパンフレットに見入る中学生

は「地域文化学」として、大学教授らの専門的な指導を受けながら、主体的な研究が進められています。

このほか、地域行事への積極的な参加やボランティア活動が、小・中学校と高校のそれぞれの段階に合わせ、展開されているほか、キャリア教育としての職場体験やインターシップにも取り組んでいます。これは、仕事内容を知ること、もちろん、社会人としての心構えや、自分と社会とのつながりを考えることにも

九月 新校舎一部完成。新校舎に移転。

昭和二十八年年度

四月 全日制普通科併置。

三月 定時制普通科廃止。

昭和二十九年度

九月 体育館完成。

昭和三十三年年度

四月 林業科設置。

昭和三十六年度

十二月 寄宿舎「興学寮」完成。

昭和四十年年度

四月 全面完全県移管となる。

三月 演習林宿舎完成。

昭和四十八年度

三月 林業科廃止。

昭和五十二年年度

十一月 新校舎落成（現在の校舎）。

昭和五十七年度

三月 寄宿舎「興学寮」閉寮。

昭和六十三年度

八月 新体育館完成。

平成十年年度

九月 山形県から中高一貫教育実践協力校に委嘱。

平成十三年年度

四月 文部科学省から小中高一貫教育研究開発学校に指定。

平成二十年年度

創立六十周年を迎える。

役立てられています。

英語教育の充実と成果

小国高校には、国際理解を深める教育の一環として、県から専属の外国語指導助手（ALT）が配置されています。このほか国際社会で活躍できる人材の育成を目指して、海外への修学旅行や短期留学などを実施し、培ってきた英語力を実際に応用できる場が設けられています。

九月二十日から二週間、アメリカコロラド州のミッチェル高校に短期留学した二人の高校三年生に、体験を通じて感じたことを話していただきました。

●異文化での二週間●

渡辺千穂さん

コロラドは思ったより暖かかったのですが、乾燥しているの肌荒れてしま



「英語が大好き。勉強も苦にならない」と話す渡辺千穂さん

いました。ホストファミリーは、お母さんと四人の姉妹の五人家族でした。長女のジャメカと一緒にベニス高校に通い、私は彼女をミカと呼んでいました。

ミッチェル高校では英語、日本語、ドイツ語の授業を体験しました。現地の生徒は積極的に挙手し、授業はいつも活気がありました。家に帰ると妹たちが待っていて、日本語を教える代わりに英語を教えてもらったり、ネイルアートをしてもらったり、ネイアートをしてもら

らったりしました。

アメリカで生活してみても、実際の食文化やコミュニケーションの取り方に、驚くことがたくさんありました。朝ごはんは、多くのおかずが並ぶことはなく、シリアルなど簡単な食事。コミュニケーションも、男女関係なくハグをするのが当たり前前で、戸惑うことも多々ありました。二週間の滞在で、修学旅行では学べなかった異文化を多く知りました。

●多くの経験に感謝●

渡辺真衣さん

日本語が通じない場所で自分の英語力だけを頼りに二週間過ごすことになり、期待することは多かったのですが、やはりはじめはとても心細く、不安のほうが大きかったです。しかし現地の人たちの明るさと、ホストファミリーの支えが

あって、自然と不安は消えていきました。

ホストファミリーは、ドラマで見たことがあるような、温かくてアメリカらしい家族でした。家族同様に良くしてもらい、私のことを気遣って、小国に電話をかけるよう進めてくれたり、箸も準備してくれました。英語のスピードに慣れない私のために、パソコンに文字を打って説明してくれたこともありました。

コロラドには、今も本当



「英検など資格取得にも挑戦したい」という渡辺真衣さん



二学期から、高校のALTとして教壇に立つジャック・アクセルロッドさんは、次のように話しています。

●高校ALTが感じる

生徒の印象●

のカウボーイがいます。私も留学中に乗馬を体験しました。馬を操るのは難しく、乗馬の次の日は筋肉痛でした。コアラで、素晴らしい経験ができたのも、家族や町の支援があったからだと思います。ホストファミリーにも感謝の気持ちでいっぱいです。出会えて本当に良かったと思います。

「英語を教えることも、日本で一人暮らしをすることも初めてで、はじめはとても心配でした。」

しかし授業をしてみて、この町の生徒はシャイな面もありますが、それでも前向きに学ぼうとする高い意欲があると感じます。今は、明るく素直な生徒たちの元気が、私に自信を与えてくれています。授業だけではなく、広く交流しながら、互いに国際理解を深めていきたいと思っています」

小国高校への期待と

一貫教育の役割

小国高校の後援会長を務める佐藤義昭氏（舟渡）は、現在の高校の姿について、「昔と比べて、生徒の数は少なくなっていますが、今の生徒たちは、本当にさまざまな分野で頑張っている姿を見せてくれます。後援会では寄付という形で、高



小国高校後援会会長
佐藤 義昭氏(舟渡)

校への支援を行っています。これは町民や企業などの協力があつてのこと。特色ある教育を実践する高校への期待の表れだと思います」と話していました。

六十周年を迎え、高校では、地域への感謝として花回廊づくりを実施し、約六百鉢のフラワーポットを通学路などに設置しました。

また十月十八日には、アスモで、二年一組の生徒がチャレンジショップに取り組みました。生徒自身が仕入れから販売までを行った喫茶店のほか、記念エコバックの販売など、活気のある店内に多くのかたが足を止めていました。

このように、八年目を迎えた小・中学校、そして高



チャレンジショップでは、ヨーヨー釣りや喫茶店などが行われ、子どもからお年寄りまで、さまざまなかたが訪れていた

校までの一貫教育の研究開発は、学力向上や学校相互の連携などに成果を残してきているほか、児童・生徒たち自身が「地域の中の自分」や「社会の中の自分」を考えるきっかけとして、生きる力の醸成に大きな役割を果たしています。

町では、小国高校の魅力ある高校づくりを支援するとともに、関係機関との連携を深め、引き続き、町独自の一貫教育の研究と実践に取り組んでまいります。

小国高校で 有森裕子さん記念講演



■六十周年記念講演

小国高校創立六十周年を記念し、十月十七日、同校体育館で、元プロマラソンランナーで五輪メダリストの有森裕子氏を招いての記念講演が行われました。六十周年記念事業実行委員会と町の共催によって実現した講演会には、小国高

校生をはじめ、町内の中学生や学校関係者のほか、多くの町民が訪れ、有森氏が入場すると大きな拍手で迎えていました。



■よろこびを力に…

当日、有森氏は自身の経験について「よろこびを力に…」と題し講演。小学生から社会人になるまでのさまざまなエピソードとともに、人生を大きく変えるきっかけとなった陸上競技との出会いなどについて、聴衆に語りかけるように話していました。

講演のなかで、有森氏は、「私も最初から走ることが好きだった訳ではありません。才能は、どこに隠れているか分からないものです。多くのかたは、小学生や中学生の時から、好きか嫌いかわけ、物事に取り組むか、取り組まないかを決めてしまいがちです。しかし、自分もまだ気付いていない才能があるのに、自分で自身の可能性を狭めていくのは、とてももったいないこと」と、何事にも精一杯に挑戦する大切さや、努力が結果となっていく喜びについて語られました。

また、「物事がうまくいかないとしても、それは周囲のせいではなく、自分に原因があることの方が多い。一生懸命に生きている人だけに、一生懸命に手をさしのべてくれる人との出会いや、ターニングポイントが自然と近づいてくる。自分の理想を強く持っているかどうか大切ですよ」と、何事にも前向きな姿勢を忘れないで欲しいと強く呼びかけ、会場の生徒たちにエールを送っていました。

講演後、有森氏は生徒代表から贈られた花束を抱えながら、笑顔で聴衆に手を振り、会場を後にしていました。

～プロフィール～

日本体育大学卒業後、(株)リクルートに入社。マラソン選手として、バルセロナ五輪で銀メダル、アトランタ五輪で銅メダルを獲得。

現在はNPO「ハート・オブ・ゴールド」代表として、地雷被害を受けた子どもの支援に力を注いでいるほか、国際陸連理事や国連人口基金親善大使などとしても活躍している。

健康づくりの草の根活動

歩こう会の二十八年

最後の「歩こう会」

十月十九日、「歩こう会」が、古田地区から石滝地区に通じる沢中峠で開催されました。参加した三十八人は、色づきはじめて山々を眺めながらそれぞれのペースで歩き、その後は、りふれで芋煮などを味わっていました。



出発前、佐藤会長は「歩こう会としては最後ですが、今後も、それぞれ活動してほしい」と話していた。



秋晴れに恵まれた最後の歩こう会

二十八間にわたって継続されてきた「歩こう会」は五十回を数えます。今回が最後の開催となり、参加者からは、過去に歩いた峠などの思い出話が聞かれました。

健康への意識の変化



昭和五十年代、国は「運動・食事・休息」を柱として、国民の健康づくりに取り組んでいました。歩こう会は、これに呼応して昭和五十五年、町と住民有志の共同で組織。「歩き」をテーマとして健康への意識を高めるため、これまで活動を

続けてきました。佐藤義雄会長は、「活動をはじめた当時は、普段から積極的に運動しようという気運が低かったと思います。今では、体力に合わせて気軽に運動できる環境があり、特にウォーキングしている人は、ずいぶん増えました。歩こう会の活動目的は

もう果たされているのでは」と話していました。



昭和五十六年、参加者は掘り起こされたばかりの黒沢峠敷石道を歩いた

歩こう会の歴史（一部抜粋）

実施時期	コース	参加者
1回 昭55	健康の森（横根山林道）	50
2回 昭56秋	黒沢峠～高鼻峠	50
3回 昭57秋	萱ノ峠～朴木峠	39
4回 昭59秋	大里峠	50
5回 昭60秋	三面部落	92
6回 昭61春	県民の森～白鷹山	48
8回 昭62春	子持峠	57
10回 昭63春	田沢頭～金目	50
13回 平1秋	岩船神社ハイキングコース	71
14回 平2春	樽口峠～小玉川	50
16回 平3春	綱川～屋敷	42
18回 平4春	胡桃平～大平峠、桜峠、市野々	51
20回 平5春	健康の森（朴木峠）	38
23回 平6秋	桂～嶽薬師～小岩内	41
24回 平7春	大峰山（新潟県加治川村）	44
26回 平8春	黒俣～胎内平（新潟県黒川村）	56
28回 平9春	南大平ダム公園（新潟県神林村）	54
30回 平10春	県民の森	56
31回 平11春	神林村平林城跡	30
33回 平12春	春の越後路を歩く（下関）	59
36回 平13秋	紅葉の温泉平散策	46
38回 平14秋	変貌する叶水地区	46
40回 平15秋	秋の奥三面	50
42回 平16秋	秋の林道大平峠線	47
43回 平17春	沖庭山と水芭蕉の群生地	46
45回 平18春	盗人沢林道～白子神社	46
47回 平19春	百子沢、市野沢越え健康の森	36
48回 平19秋	町原稻荷神社と町内回遊コース	15
49回 平20春	新潟県：片貝から下関を歩く	17
50回 平20秋	沢中峠（古田～石滝）を越えて	38

災害時の連携を確認

総合防災訓練



十月五日、町立病院駐車場や町営住宅周辺のあけぼの地区を会場に、小国町総合防災訓練が実施されました。訓練は、新潟県沖を震源とする大地震により、町内でも被害が発生したという想定で行われ、町内の消防団員や、地区のかたなど約四百人が参加しました。

当日は、災害対策本部の設置にはじまり、初期消火や救急救護、炊き出しなど、災害時における住民一人ひとりの協力体制を確認して行いました。また、県防災ヘリコプター「もがみ」による救助訓練なども行われました。



中越地震経験者に学ぶ
地域の防災組織

十日四日、総合センターで、自主防災組織推進セミナーが開催されました。これは、災害時の様子や住民活動の大切さを知ってもらうと、県と町が主催したもので、約三十人が参加。講師の大矢幹雄さん（NPO法人防災サポートおぢや）は、「小さい集落ほど、人と人とのつながりが強い。昔ながらのつきあいが、近所の高齢者の無事を確認するうえで、とても大切です」と、住民による防災組織の有効性について話していました。

笑いから健康を

十月二十三日、老人福祉センターで、白い森仙人講座が開催されました。今年度四回目となるこの日は、笑いによる幸せづくりを提唱し、「吞百笑燦塾（どんびやくしょうさんじゆく）」を主宰している井上太さん（山形市）が、時事ネタを織り交ぜたユーモアたっぷりの講演を行い、会場は終始大きな笑い声に包まれていました。



伝心伝承 沖小・古田歌舞伎公演

十月二十五日、沖庭小学校で、沖小歌舞伎と古田歌舞伎の合同公演が行われました。

この日は、沖庭小学校の五・六年生約二十人によって、「寿三番叟」・「白波五人男」・「絵本大功記」の三演目が演じられたほか、これに続いて、古田歌舞伎保存会のメンバーによって、「奥州安達ヶ原一つ家の場」が披露されました。

古田歌舞伎は、地域の農



沖庭小学校5・6年生による「白波五人男」

民芸能として、江戸時代末期から継承されていたもので、昭和三十年代に一旦途絶えたものの、昭和六十一年に復興。平成四年には町の無形文化財として指定されています。

沖小歌舞伎は、この郷土芸能を伝え守っていくため、沖庭小学校の五年生を中心に、毎年、児童が取り組んできています。昨年二十回目を迎えています。夏以降、地域の指導者や先輩から、数ヶ月にわたり立ち振る舞いの指導を受けてきた児童らは、緊張した表情を見せながらも、大きな声で堂々と演じ、会場からは大きな拍手が贈られています。



「奥州安達ヶ原一つ家の場」のシーン

中学二年生が職場体験

キャリア・スタート・ウィーク

十月五日から十日まで、町内の中学二年生九十人が、職場体験を行いました。これは、キャリア・スタート・ウィークとよばれる取り組みで、実際の労働経験とおして、社会に触れてもらうための活動です。

事前に、職場でのマナーや心構えなどを学ぶ講演会が行われ、その後、生徒たちはそれぞれの業種ごとに分かれて、職場を体験。五

日間とこれまでで最も長い期間が設定された今回は、町内四十二カ所の事業所に協力をいただき、そのうち三十四カ所の企業や店舗などで実際に職場体験が実施されました。白い森調剤薬局で、受付などの接客を担当した北部中学校の佐藤美里さんは、「立ち仕事で大変です」と話しながらも、訪れるかたがた一人ひとりに笑顔で接していました。



募集

**平成21年度採用
西置賜行政組合職員募集**

■募集内容 消防職若干名

■受験資格 昭和55年4月

2日以降に生まれた高卒以上の学歴を有するかたで、西置賜在住のかた。

■募集期間

12月1日(月)～9日(火)

■試験日 12月20日(土)

■試験場所 置賜生涯学習プラザ(長井市)

■受験方法 消防小国分署に準備している所定の申込書に必要事項を記入し

申し込んでください。

■問合先 消防署小国分署

(☎62-2154)へ

催し

福田直樹ピアノコンサート

■日時 12月2日(火)

午後6時30分～

■場所 総合センター

■入場料 無料ですので、

気軽にお越しください。

■問合先 教育委員会事務局へ

第6回おぐに鍋まつり

■日時 11月23日(日)

正午(開場は11時30分)

■場所 ふれあいの家

■その他 出店者を募集しています。希望する場合は、11月5日(水)まで申し込んでください。

■問合先 実行委員会(商工会 ☎62-4146)へ

白い森柔道大会2008

■日時 11月15日(土)

午前9時～開会式

午前9時20分～競技開始

■場所 町民体育館

■内容 団体戦(予選・決勝)、県選抜対抗戦

■その他 翌16日には、合同練習(練習試合)を行

います。

■問合先 実行委員会(多勢 ☎62-2043)へ

ご案内

**排水設備工事
責任技術者の登録更新**

日本下水道協会山形県支部に登録している責任技術者で、登録の有効期限が平成21年1月31日までのかたは、現在所属している指定工事店所在地の市町村で、更新手続きが必要です。

■必要な手続き

①登録更新の申請

②更新講習会の受講

■申請期間

11月4日(火)～12月2日(火)

■問合先 地域整備課へ

狩猟期間が始まります

県の狩猟期間が始まります。この期間は、あらかじめ手続きを行った狩猟者に

対して、狩猟可能区域における対象鳥獣の狩猟が認められます。狩猟者が納める狩猟税は、県の環境・鳥獣保護施策に活かされています。期間中の狩猟行為にご理解ください。

■県の狩猟期間

▼カモ類(11種)

11月1日～1月31日

▼その他(38種)

11月15日～2月15日

■問合先 置賜総合支庁

(☎0238-2616035)へ

**地元選出県議による
地域議員協議会**

■日時 11月14日(金)

午後1時～

■場所 置賜総合支庁

■内容 地元県議による地域課題や施策展開の審議を傍聴できます。

■問合先 県議会事務局政策調査室(☎023-630-2846)へ

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 11月4日、11日、
18日子育て講座「雑穀料
理」、25日、12月2日

■時間 午前10時～

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前
の子どもとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所 11月6日、20日
総合センター

11月13日、27日

おぐに保育園

■時間 午前10時～

■対象者 0歳から入園前
の子どもとお家のかた

☆こどもの日まつり☆

■日時 11月8日(土)
午前9時30分～

■場所 健康管理センター

■内容 親子クッキング、
人形劇など

■申込期限 11月5日(水)

■問合先

子育て支援センターへ

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇時が滲む朝 楊 逸
- ◇切羽へ 井上 荒野
- ◇感じる食育楽しい食育
サカイ由佳子・田平 恵美
- ◇あきらめないで認知症 岡本五十雄
- ◇目からウロコの修験道 伊矢野美峰
- ◇歯医者さんにかかる前に読む本
辻野 哲弘
- ◇子どものスポーツ障害
こう防ぐ、こう治す 柏口 新二
- ◇玉ねぎ健康法 石原 結實
- ◇基礎から学ぶ！スポーツ栄養学
鈴木志保子

※ほか多数入りました。

●休館日 毎週月曜日

今月の納税

今月の口座振替日は、次の
とおりです。振替日前日まで、
指定口座に入金してください。

●11月26日(水) 水道料

●12月1日(月) 後期高齢者保
険料5期、国民健康保険税
5期、介護保険料、下水道
料・簡易水道料、住宅使用
料、保育料など

■問合先 税務出納課へ

求人情報

左の表は10月15日現在の求人
内容です。無効になっている場
合もありますのでご了承ください。
※詳しいことは、ハローワー
ク長井（☎84—8609）へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株) 船山工務店	土木施工管理技士	2人	8:00～17:00
第一ホール小国店街コンズカンパニー	ホールスタッフ	2人	8:00～17:30ほか
(有) 花のひらの	生花販売・配達	1人	8:00～17:00ほか
ひさご電材(株)小国工場	電気部品製造	1人	8:30～17:30
(株) セノン東北支社	車両管理員	3人	8:30～17:15
医療法人社団緑愛会	看護師・准看護師	3人	8:30～17:30ほか
(有) 蔵王スター	レジ係	1人	8:45～18:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	特別営業職・ルート営業	10人	9:15～17:00
(株) ケイプロダクツ	営業	1人	9:00～18:00
(有) 小国測量設計事務所	測量助手	1人	8:00～17:00
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士ほか	6人	8:00～17:00
安部工業(株)	一般作業員ほか	2人	8:00～17:00
電興(株)	薬剤師	1人	8:50～17:30
ハイコー(株)	電気工事（見習い可）	2人	8:00～17:00
(株) 横川建設	土木施工管理技士ほか	4人	8:00～17:00
(株) スタッフサービス	機械系生産技術ほか	2人	8:30～17:00
(株) シーテック山形営業所	製造装置の開発	1人	9:00～18:00
酒味庵 まつばら	居酒屋での接客	1人	17:00～21:00ほか
(有) コンビニステーションオレンジ	コンビニ・カラオケ店員	3人	9:00～13:00ほか
(株) ナウエル	設備業務及び運転手	1人	8:30～17:30
(有) 白い森よこね物産品直売所	販売他	3人	9:00～18:00 5時間
小国町森林組合	木質チップ製造工	1人	7:30～17:00

保健力レンダー

■問合先 健康福祉課へ

乳幼児健診	月日	受付時間	対象(生まれた月)	場 所
4カ月児健診	12/19	13:00～13:15	平成20年8月	健康管理センター
1歳児健診			平成19年12月	
1歳6カ月児健診	12/12	12:30～13:00	平成19年4月～6月	※持ち物 母子健康手帳

相 談

年金相談

- 日 時 11月19日(水)
 受 付 10:30～14:30
 相 談 11:00～
 ■場 所 役場町民相談室
 ■対応者 社会保険事務所職員
 ■問合先 町民課へ

人権相談

- 日 時 11月21日(金)
 12月5日(金)
 いずれも受付時間は、10:00～12:00となります。
 ■場 所 総合センター
 ■対応者 町人権擁護委員
 ■その他 12月5日は、齋藤恒助行政相談委員による特設行政相談所も同時開催します。
 ■問合先 町民課へ

弁護士無料相談

- 日 時 12月5日(金)
 10:00～15:00
 ■場 所 総合センター
 ■対象者 どなたでも無料で相談できます。希望する場合は、12月1日までに申し込んでください。
 ■問合先 町民課へ

除雪機を貸し出します

大型機械での除雪が困難な歩道・生活道路などを対象に、町のハンドガイド式小型除雪機(35馬力)を貸し出します。

- 対 象 者
 ・2世帯以上で構成する任意団体
 ・町長が特に認める個人(法人)
 ■募集期間 11月4日(火)～21日(金)
 ■貸出期間 11月下旬～3月31日
 ■申 込 先 地域整備課へ

秋の火災予防運動

「秋の火災予防運動」が、11月9日～15日に実施されます。空気が乾燥し、火災の多い季節ですので、火の取り扱いにご注意ください。また、家族を火災から守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

- 問合先 消防署小国分署(☎62-2154)へ

県内就職を応援 ふるさと奨学ローン

- 融資金額 最高1,000万円まで
 ■融資期間 据置期間を含め10年以内
 (元金返済の据え置き期間は、最長6年間)
 ■融資金利 年2.2%～2.85%(保証料別途年0.5%。また、県内就職した場合、以降の元金200万円を限度に年1.0%を利子補給)
 ■問 合 先 労働金庫小国支店
 (☎62-4456) へ



小国町役場 ☎62-2111(代) FAX62-5464
 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
 出納室 ☎62-2406
 建設管理室・上下水道室 ☎62-2431

行政管理室 ☎62-2112
 国保医療担当 ☎62-2261
 農林振興室 ☎62-2408
 建設技術室 ☎62-2432

政策企画室 ☎62-2264
 税政管理室 ☎62-2403
 商工振興室・交流推進室 ☎62-2416
 議会事務局 ☎62-2448

今年も交付します

あつたか灯油券



町では昨年度と同様に、「あつたか灯油券」を交付します。

■対象者 十一月一日現在

において住民基本台帳に登録され小国町に居住しているかたで、町民税が非課税となっており、さらに福祉施設などに入所していない次の世帯

①高齢者世帯（満六十五歳

以上のひとり暮らし世帯及び高齢者のみの世帯）

②ひとり親の世帯（児童扶

養手当受給世帯・満二十歳未満の児童を扶養している世帯）

③障害者世帯（身体障害者

手帳一級・二級のかたが構成員の世帯、療育手帳Aのかたが構成員の世帯、精神保健福祉手帳一級のかたが構成員の世帯）

④生活保護法による保護受給世帯

⑤在宅系施設利用者

■助成額 八千円（一枚千

円の灯油券八枚綴り）

■使用期限 平成二十一年三月二十日

■受付期間

十一月十七日（月）～十二月十九日（金）

■使用できる販売店

山形県石油協同組合小国支部の加盟店

■申請方法 健康福祉課での申請が必要となります。

申請する場合は、印鑑を持参してお越しください。なお、代理のかたでも申請できますが、代理のかたの印鑑、身分を確認できるもの（運転免許証等）を持参してください。

■問合先 健康福祉課へ

不要な農薬を処分します

不法投棄や残留農薬問題への関心が高まっています。J A山形おきたまでは、期限切れの農薬、不要になった農薬、登録が失効した農薬などの処分を行います。

■日 時 11月14日（金）

9：30～15：00

■場 所 J A山形おきたま小国資材センター前（針生地内）

■処分費 160円/1 kg

現金又は貯金振替

■その他 持ち込む際には印鑑を持参してください。農薬は種類ごとに①粉粒剤、②乳液剤、③水和剤、④スプレー缶に仕分けし、別々に段ボールや袋に入れてください。

■問合先 J A山形おきたま小国支店（☎62-5588）へ

◆出前耐震診断講座◆

県では、木造住宅の「出前耐震診断講座」を行っています。少人数でも申し込みできますので、公民館などのグループ単位で申し込んでください。

■申込先 地域整備課へ

横川の水位にご注意を

横川発電所では、施設設備の調整作業などを行う試験運転を11月4日～12月上旬まで実施します。

これに伴い、横川の河川水位が急に変動する場合がありますので、十分に注意してください。

■問合先 県企業局発電所建設事務所（☎0238-88-3059）へ

職場を訪ねて ⑦

～豊嶋石英硝子(有)～

今回は、豊嶋石英硝子(有)の硝子加工場を訪ねました。



今さんは、2つのバーナーを巧みに使い、加工の準備段階「つや出し」の作業をしていた

豊嶋石英硝子(有)は、石英ガラスの加工を専門に行う企業として、約25年前に操業を開始しました。

入社して6年目となる今悠樹さん(小渡)は、「会社では若手と言われていますが、年齢だけでなく、技術的な面で先輩たちとの差を感じながら作業しています。職場では、ガラス製の部材を削ったり、切断したり、バーナーで加熱処理して、製品の形に仕上げています。ガラスは、熱で膨張すると割れやすいので、加工の際には、温度の加減に最も注意しています。いつでも正確な仕事ができるよう、また技術的な要望にこたえられるように、もっと技を磨いていきたいと思います」と話していました。

編集後記

今月の特集にあたり、短期留学した生徒と話したときのこと。私は、海外での授業や生活で感じた戸惑いなどを聞きだそうと、「話が通じなくて、困ったことは？」と聞きました。しかし生徒たちからは、「分からないことがあっても、分かるまで話すので、困ったことはありません」との返答。その真剣なまなざしに、ありきたりな返答を想定していた自分を恥ずかしく感じました。また同時に、このような生徒たちが、大きく活躍してくれるなら、きっと世界中が明るくなるだろうと、とても心強く感じました。(片桐)

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国小坂町	伊藤	咲	あ	(友和)
小国町	塩川	夏	つ	(千健)
東原	渡部	お	と	(孝太)
小国小坂町	貝沼	あ	ゆ	(繁夫)
小国小坂町	山北	裕	せい	(紀裕)
小国町	伊藤	す	ず	(喜裕)
小国小坂町	今野	か	り	(晋太)
岩井沢	浅沼	み	く	(敏由)
大宮	遠藤	こ	ま	(昌恵)

結婚おめでとうございます。

(石幸)	滝町	今	勇	輝
(増東)	岡市	加	圭	菜
(兵庫)	根	嶋	大	介
(岩井)	館沢	大	江	静
	沢	佐	藤	浩
		山	口	郁

おくやみ申し上げます。

網木	箱川	鈴	木	仁	(71)
小玉	沢	佐	藤	宏	(69)
岩井	沢	飯	田	ト	(93)
幸五	沢	渡	邊	テ	(80)
幸尻	沢	齋	藤	吉	(72)
幸石	沢	齋	藤	武	(63)
大	滝	齋	藤	春	(71)
岩	沢	高	井	は	(94)
小	沢	野	澤	チ	(65)
緑	渡	高	橋	サ	(78)
古	田	新	野	初	(94)
		伊	藤	文	(79)
		安	部	明	(50)
			平	左	(85)

人口のうごき

人口	男	4,559人(-8)
	女	4,815人(+4)
	計	9,374人(-4)
世帯数		3,261世帯(-4)
		平成20年9月30日